



学園だより

# 辛夷花

発行 社会福祉法人上の原学園

住所 茨城県桜川市上野原地新田159-1 Tel.0296-75-2509(代)

ホームページアドレス <http://www.u-gaku.or.jp/>

メールアドレス uenoharagakuen@basil.ocn.ne.jp



## カラオケエリア

カラオケエリアではカラオケ大会が行われ、限られた時間でしたが皆様楽しまれました！



## 屋台エリア

今回はきのこご飯、唐揚げ、豚汁、パンナコッタ、綿あめ、ポップコーンの屋台が並びました！とってもおいしい！！



## 秋祭り 令和3年 9月14日

今回の秋祭りでは感染症対策として密集を避ける為にエリアを分けて会場を用意しました！



中庭の芝生では間隔をあけたテーブルといすで食事や休憩をとりました！



## 中庭エリア



密を避けるため時間交代制でグラウンドを開放しボール遊びに散歩にと自由に過ごしていただきました！



## グラウンドエリア

上の原の秋のイベントと言えば「うまかつ祭り」が定着し、地域交流事業として行われてきました。しかし、現在も新型コロナウイルスの感染が心配される状況である為今回は園内で秋祭りを実施しました。時間を分け、密を避けながら模擬店を行いました。メニューはきのこご飯、豚汁、唐揚げ等を提供しました。利用者様方は久しぶりの外での食事やカラオケを楽しんでいました。天気にも恵まれ楽しめた時間となった事と思います。早くコロナが収束して来年度は例年同様のうまかつ祭りが出来る事を願うばかりです。

実行委員長 境 記

毎年恒例の秋のイベント、うまかつ祭りを今年度は「うまかつ祭り」の代りに「秋祭り」を開催しました！！

令和2年11月1日開設

# 新事業所特集

新事業所のお問い合わせ先  
つくし。スタッフ：0296-71-5015  
大北：0296-71-5012  
原上原の原：0296-71-5013



## 来賓

衆議院議員・法務副大臣 田所 嘉徳 様

茨城県議会議員 白田 信夫 様 設楽 詠美子 様

桜川市長 大塚 秀喜 様

当日は大変多くの方にご来園いただきました。全員をご紹介させていただきたいところではありますが、紙面の都合上割愛させていただきます。この度は内覧会にお越しいただき誠にありがとうございました。

この度二〇二〇年十一月一日に「生活介護事業所つくし」グループホームステップ」が新規オープンしました。オープンに先立ち開催した内覧会では二日間に渡って大勢の関係者や地域の皆様に来場していただき、誠にありがとうございました。

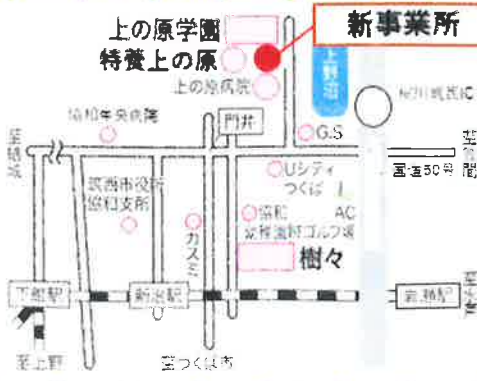
今回の事業所は生活介護とリハビリが共存した新しいスタイルを目指して開設しました。生活介護の活動に機能訓練を重視したりリハビリを取り入れ、車椅子の方でも生活が出来るバリアフリーのグループホームを作りました。障がいのある利用者様が充実した素晴らしいライフスタイルを送れることを願っています。

施設入所の方やグループホーム在住で障がいのある利用者様も高齢化が進み、身体機能の維持は日常生活を送る上で大切になって参りました。これからも地域に根差した福祉を目指して参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

益子 記

## アクセス

- 自動車の方  
北関東自動車道から国道50号線を筑西方面に進んでE NEOSのある交差点を右折（看板があります）。
- 電車の方  
JR水戸線新治駅からタクシーで約10分。



# 事業の紹介

## 令和2年11月1日、上の原学園に新しい事業所が開設しました。 今回新しい事業所に入った4つの事業をご紹介します。

「身体機能の低下防止」の取り組み

昨年十一月のオープンから三か月が経ち、最初は使い慣れなかったリハビリ器具も日々の活動の中で上手く使いこなせる様になりました。利用者さんからも、徐々に活動に対しての意欲が見られるようになりました。身体機能の低下防止と共に、認知機能を高める為、脳トレ等も取り入れております。身体機能・認知機能を同時に高める事で、より健康を保ち、楽しみのある生活が継続出来るようスタッフ一同取り組んでおります。

生活介護事業所 つくし 丹波

「車椅子の方や肢体の不自由な方も利用できるグループホームです」

グループホームステップがオープンして約三か月が経ちました。ステップでは入居定員数が十名で、ゆとりを持った生活が送れるようになっていきます。魅力として、車椅子でも利用可能な広々とした造りの食堂や居室、肢体不自由な方でも使用可能な機械浴を設置しております。

グループホーム ステップ 小嶋



「バリアフリーでゆとりのあるグループホームです」



「介護予防の考え方を取り入れた活動を行います」

グループホーム  
ステップ

生活介護  
事業所  
つくし



「在宅の高齢者の方などを対象に居宅介護をサポートします」

居宅介護支援  
事業所  
上の原

相談支援  
事業所  
大地



「障がい者（児）の方を対象とした相談支援を行います」

「心の距離は近づくことができます」

平成二十五年十月の開所から、お陰様で七年が経ち、昨年の十一月に新事業所のオープンと共に移転致しました。昨年は新型コロナウイルスの流行により一時期は訪問等も自粛せざるを得ず、ご利用者様やご家族様と直接お会い出来ない状況に大変心苦しさを感じました。そして現在もコロナの感染拡大により先の見えない不安な状況が続いています。直接顔を合わせてお話を取る事が当たり前ではなく、距離を取る事が思いやりの今、心の距離はどうか近くいられますように頑張っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願致します。

相談支援事業所 大地 深谷 石井

「居宅開設から一年。ピンチはチャンス」本年を飛躍の一年とします

居宅介護支援事業所上の原が開設して一年が経過しました。この間にコロナ禍が進み、緊急事態宣言が発令され、多くの人が不憫な思いをする事となりました。

そんな制限を受ける中でも介護をする事に変わりはありません。多くの利用者様、ご家族様、事業所様からのお声掛けにより、当事業所も多くの気付きと依頼がありました。

『ピンチはチャンス』本年も飛躍の一年にしていきたいと思っております。

居宅介護支援事業所 上の原 仙波

# 成人寮 クリスマス会・新年会



クリスマス会ではサンタさんのプレゼントとティナーを楽しみました。



利用者が楽しんでくれているクリスマス会を東棟は令和二年十二月二十三日、西棟は令和二年十二月二十五日に開催しました。利用者の皆さんもクリスマスの衣装に身を包みながら、クリスマスソングを歌い、プレゼント交換を行って楽しみました。会の終盤はテイクアウトしたティナーに舌鼓を打ちながらクリスマス会を大いに楽しみました。



熊坂 記

はじめに職員と利用者さんが一緒に昔ながらの「餅つき」を行い、後に書初め、羽子板にイラストを描く等のイベントを楽しみました。一通りのイベントを楽しんだ後はお汁粉とみたらし団子を食べ、新年会は終了となりました。皆さんの書初めは後日貼り出し、改めて眺めてみるとひとりひとり個性が文字に滲み出ていました。後藤 記

# グループホーム アガサ外食



令和二年十月七日にグループホームさくら・こぶしはアガサに外食へ出かけました。新型コロナウイルスの影響により、外出の機会が中々ない状況でしたが、上の原学園近くのレストランで食事に行く事が出来ました。メイン料理はハンバーグ、他にサラダ、ライス、飲み物、デザートのついたメニューでほとんどの皆様完食されていました。久しぶりの外食という事もあり、笑顔で会話を交えながら楽しまれている様子が窺えました。帰園後も「美味しかった、また行きたい」等の声が聞かれ、利用者の皆様にとって充実した、思い出に残る外食となったようです。

磯 記

# サポートセンター クリスマス会



十二月二十五日にサポートセンター内でクリスマス会を行いました。サンタクロースの格好をしたスタッフからプレゼントを貰い、ケーキを食べました。コロナ禍の為、例年通りとはいかないクリスマス会でしたが、皆さん笑顔が見られ、とても楽しい時間を過ごすことが出来たようです。

櫻井 記

# 新年会



一月七日に新年会を行いました。おみくじを引いたり、絵馬にそれぞれ願い事を書き、初詣の雰囲気を楽しみました。絵馬には、今年一年の抱負や願い事が書かれていました。皆さんの願いが叶うと良いですね。

櫻井 記

# 児童棟の冬休み

## 児童棟



令和二年十二月二十四日にクリスマス会を行いました。新型コロナウイルスで外出が出来ない中、利用者さんにとつてとても楽しみなイベントなので職員も気合を入れて取り組みました。今回は子どもたちだけでなく、職員も一緒にダンスをしました。体も動かせてとても満足そうでした。

サンタに扮した職員から利用者さんへクリスマスプレゼントが渡され、満面の笑みで「ありがとう」と言われ、頑張つてよかったと改めて思えたクリスマス会になりました。最後にケーキを食べて終了になりました。利用者さんも何度も楽しかったと口にしていて、とても良い思い出のイベントとなりました。

村田 記



令和三年一月一日、妙法寺へ初詣に行きました。防寒着をしつかり着込み、徒歩で出発です。約三十分ほど歩くと到着し、願い事をそれぞれ祈りました。何をお願いしたのか聞いてみると、コロナが終わるようにと皆さん口を揃えて話していました。

年末年始はイベント尽くしの毎日で、福笑いや年賀状作り、書初め等を行いました。今日は何をやるのかと職員に何度も聞きに来る姿がみられました。来年はコロナが落ち着き、もつとイベントの幅が広がられたらと思います。

生駒 記

# 初詣



# 特別養護老人ホーム 上の原

## 2020

### お正月

お正月は特養上の原に「上の原神社」が登場！三が日に一人ひとり絵馬に今年の抱負を書いてお参りをしました。

各ユニットで新年会が催され、書初めを行ったほか、かるたやすごろく、福笑いに輪投げとさまざまな遊びを楽しみました！



### クリスマス

クリスマスはユニットごとにクリスマス会が開かれました。上野沼・磯部桜ユニットではビンゴ大会が開催され、ご利用者様にプレゼントが配られました。そのほかのユニットでもサンタクロースとトナカイが利用者様へのプレゼントを配り歩き、特製のおやつを食べ、楽しいひと時を満喫しました！



## 2021

### 運動会

十月二十八日、上野沼・磯部桜ユニットにて秋の運動会を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で外出などができないため、気分転換を図れるような内容を取り入れ行いました。

借り物競争ではご入居者様に制作していただいたぶどうの壁飾りを使いぶどう狩りをし、壁飾りの裏側に書かれているハロウィンの衣装と同じ仮装をして記念写真を撮りました。

定番の玉入れもご入居者様手作りのお手玉を使用し、元気いっぱい玉を投げ楽しんでいました。

今後も感染症予防をしっかりと行いながら楽しく過ごせるよう、工夫していきたいと思っております。

山口 記



十一月二日、ひたちなか市在住の丹治様より、菊の盆栽を寄贈していただきました。とても綺麗な花を咲かせてくれました。見事な盆栽菊をありがとうございます。



### デイサービス通信 Vol.3

デイサービスセンター上の原では月に一回程度外出レクを行っておりますが、昨今のコロナ禍で外出レクの自粛を余儀なくされております。

そのような中でいかに利用者様に楽しんでいただけるか、話し合いを重ねてきました。そしてできるだけ利用者様の要望を叶えてあげたいと、四月からは月に一回テイクアウトを利用しての昼食レクを行い「おいしいものが食べたい」という利用者様の願いを叶えるべく取り組んでいきます。

丸亀製麺ではうどんと天ぷらを、すき家ではうなぎを、その他にもお寿司やハンバーガーなどをテイクアウトしました。どの月も、利用者様から好評をいただいております。

このようなコロナ禍でも少しでも利用者様の願いが形になるように、今後も更なるサービスの充実を目指して日々取り組んで参りたいと思っております。

宮島 記



# 新採スタッフ紹介

## 上の原学園成人寮

### 三島 智成



○出身 栃木県  
○趣味 愛犬の世話  
○一言 迷惑をおかけする事もありますが、頑張りますので宜しくお願いします。

### 栗野 日登美



○出身 筑西市  
○趣味 猫と遊ぶ事、映画鑑賞  
○一言 利用者さんと信頼関係を築き、楽しい学園生活の力になればと思います。

### 荻野 昌宏



○出身 筑西市  
○趣味 映画鑑賞  
○一言 初めての業界という事で、たくさん迷惑をかけると思いますが、皆様、よろしくお願致します。

### 田口 勝也



○出身 笠間市  
○趣味 写真撮影  
○一言 右左と分からない事ばかりですが、ご指導の程御願致します。

※令和二年十二月三十一日までに入社された方を掲載しています。

# 特別養護老人ホーム上の原

## 鴻田 真季



○出身 桜川市  
○趣味 漫画、ゲーム  
○一言 ご利用者様の笑顔を大切に、楽しく過ごせる環境を作っていきたいです。

## 飯田 瑞穂



○出身 桜川市  
○趣味 カメラ  
○一言 これまで勉強したことを活かして頑張ります。

## 谷田部 千亜紀



○出身 栃木県  
○趣味 読書、DIY  
○一言 互いが笑顔になれる介護を心掛けていきます。よろしくお願致します。

## 金沢 敦子



○出身 桜川市  
○趣味 料理作り  
○一言 早く戦力になれるよう頑張りますのでよろしくお願致します。

## 上の原学園栄養課

### 佐谷 富子



○出身 徳島県  
○趣味 お昼寝  
○一言 よろしくお願致します。

# 下館幼稚園から野菜が届きました

下館幼稚園生が育てた野菜を沢山顶きました。善意を有難うございました。



ありがとうございました

# 令和三年度 社会福祉事業功労者 ・自立更生者に対する知事表彰

## 表彰者

- 小松 奇直起
- 益子 茂
- 島田 裕一
- 片田 淳子
- 中里 智子
- 浦田 郷恵
- 渡部 亮一
- 吉田 純子



受賞おめでとうございます

# 昭和電工マテリアルズ労働組合より

昭和電工マテリアルズ労働組合下館支部の方が当施設を訪れ、組合員の皆様の善意が届けられました。同組合員の皆様の福祉に対する温かい心遣いには頭が下がる思いです。昭和電工マテリアルズ労働組合下館支部の皆様、誠にありがとうございました。



## 高村洋様より

ご寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## リスカ株式会社様より 協和特別支援学校PTA様より

お菓子を寄贈して頂きました。クリスマス会を開き利用者の方々に提供させて頂きます。善意を有難うございました。



# 調理の窓

二〇二〇年、新型コロナウイルスが世界中に広がり大混乱が起こっています。日本も例外なく感染が広がり、国は感染予防として手洗い、消毒の徹底、外出の制限をするように呼びかけを行っています。それに伴い外食機会が減り、寒さも厳しくなった事から家庭内でお鍋を食べる機会が多くなってきたのではないのでしょうか。

今回は鍋に入れる代表的なお野菜、白菜、長ネギ、春菊のお話を少しさせていただきます。これらの野菜に多く含まれているのは食物繊維、ビタミンCですが、特に白菜にはカリウムとビタミンC、長ネギには流加アルル、春菊にはカリウム、カルシウム、βカロテンが含まれています。カリウムには高血圧予防、ビタミンCには風邪予防や美肌キープ効果、硫化アルルには疲労回復効果や抗酸化作用があります。

これらの野菜を多く取り入れた食事をする事で免疫力を高め、健康な身体をつくり、このコロナ禍をみんなで乗り越えていきましょう。

古里 記



# ナーズコール

## ◆コロナウイルス感染症◆

新型コロナウイルスの感染力はさまざまですが、特に注意すべき点として無症候の感染者であつても他者に感染させてしまう可能性がある点が挙げられます。何の症状もない人あるいは咽頭痛程度の人がある人に感染させてしまう可能性があり、感染拡大の要因の一つになっていると思われれます。一人の感染者から二、三人程度に感染させると言われているので、自分が無症状で感染させているかもしれないと思いながら行動しましょう。

片田 記

※日本環境感染学会資料参照

上の原学園では様々な感染症対策に取り組みしています。取り組みの一端として新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を活用させて頂いたおかげで、感染症対策に繋がる備品を購入させていただきました。

### ～感染症対策～



# 苦情解決状況報告

社会福祉法人上の原学園では苦情解決の掲示に加え、各事業所の目につきやすい場所に「ご意見箱」を設置して取り組んでいます。令和二年度における苦情の内容、件数の状況を報告致します。

事業所	受付件数	解決件数	申立者	苦情内容	解決方法
上の原学園成人寮	0	0	なし	なし	なし
上の原学園	0	0	なし	なし	なし
特別養護老人ホーム上の原	1	1	利用者(1)	食事について	ケアマネと担当職員で自宅に訪問し提供した食事については問題なかったことを報告して納得して頂きました。

(令和3年2月1日時点)

## 写真掲載について

広報誌の写真掲載は個人情報やプライバシーに配慮し、ご本人やご家族の了承の上で掲載しております。

# 苦情解決窓口

●苦情解決担当者

成人寮施設長 杉山 真里  
 児童寮施設長 坪井 寿美雄  
 サポートセンター長 宮田 雅仁

●苦情受付担当者

成人寮部長 佐藤 薫  
 児童寮部長 鈴木 幸江  
 グループホーム主任 篠崎 喜之

●第三者委員

保護司 又村 和子  
 (0296・76・1148)  
 評議員 関口 清  
 (0282・31・2986)

上の原学園  
 (0296・75・2509)

## 編集後記

「口は災いの元」という諺があります。駒沢大学の大逆転優勝が記憶に新しい箱根駅伝ですが、今から百年近く前、大正十四年の第六回大会に人力車を牽く人力車夫が替え玉として出場するという事件が起こりました。その人力車夫は襷を受け取り前を走るランナーに追いつくと、追い抜き際に「アラヨット！」と声をあげながら颯爽と抜き去っていったそうです。それを目撃した周囲が怪しんだことにより正体がばれ、不正を行った大学は翌年の大会を辞退することとなりました。以上、冒頭の諺は特に関係なく、ずるは良くないねというお話でした。

永易 記